

令和2年度 相知小学校だより No.7



学校教育目標

やる気 やさしさ えがお あふれる相知小

令和2年6月12日（金）文責：大石 文枝

* 地域の方からの声に耳を傾けると *

8日（月）の放課後に嬉しい1本の電話がかかってきました。名前は、名乗られなかったのですが、以下のような内容でした。

さきほどのことです。相知小の子供たちが横断歩道を渡ろうとしていたので、車を一旦停止して、横断歩道を渡り終わるのをまっています。なんと渡り終わった子供たちは、車に丁寧にお辞儀をしてお礼を言ってくれました。その姿が素晴らしく、感心しましたので、思わず電話をしました。



お忙しい中にも、心温まるエピソードをわざわざ電話して伝えてくださる地域の皆様の温かいまなざしに心打たれました。本当にありがとうございます。子供たちには、礼儀正しく、そして、していただいたことに対して感謝の気持ちを表現できるようになってほしいと思います。

ただ、一方でこんな声も届きました。

放課後や休みの日の団地内を車で通りますが、子供たちの自転車の乗り方がとても危ないと感じています。また、道路でボール遊びをする姿も見られます。事故につながります。大変危険なことです。学校の方でしっかりとご指導ください。



子供たちの安全・安心を守るための地域からのありがたい声として該当する地区の子供たちを集めてすぐに指導しました。とにかく事故にあってからでは遅いです。

また、これは、その地区だけに限ったことではないと思います。全校にも生徒指導担当から自転車の乗り方や道路で遊ばないことの放送をし、それを受けて各担任からも交通指導教室として学年に応じた話をしています。自転車も車も急には止まれないし、「あっ」という間もなくぶつかってしまいます。



小学生ではないのですが、相知中校区では、自転車の接触事故も立て続けて2件起こっています。小学校の方でもよそ事ではなく自分事としてしっかりと指導をしています。相知町は、少し行けば坂道も多いです。坂道は、自転車のスピードも出ます。家庭でも道路で自転車に乗る時には交通ルールをきちんと守ること、道路では絶対に遊ばない等をお話してください。よろしくお願いします。



おしらせ

相知町の千束にある小松酒造株式会社様が、相知小学校に消毒用の高濃度エタノール500mLを24本も寄贈してくださいました。ご承知の通り、小松酒造株式会社様は、お酒を造っていらっしゃる酒蔵です。



実は、その酒造メーカーである小松酒造株式会社様は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、日本全国で消毒用のアルコールが品切れ状態であるということで、何とかしたいという思いで消毒用エタノールを製造されたそうです。そんな中においては、地域の学校も困っているのではないかと案じてくださり、製造されたエタノールを届けてくださいました。このエタノールは、米を主原料としているそうです。もともとは飲用目的で造った本格焼酎が使用されていますので、添加物等も一切ないもので、安全で貴重なものです。

学校では、これらを使って、消毒をし、子供たちを感染症から守りたいと思います。

地域に支えてもらっている学校であることに、改めてお礼申し上げます。

朝のくっすんタイム

相知小は、8時10分が学校の始業時間です。その始業時間の前の8時から8時10分までの間、「くっすんタイム」として、読書の時間を設けています。

子供たちは、朝学校に登校したら、教科書等を机の中にしまったり宿題や相知っ子ノート等を所定の場所に提出したりします。

その後「くっすんタイム」までの時間に余裕があれば、子供たちは友達同士で話をしたり遊んだりしていますが、「くっすんタイム」が始まると、静かに読書をしています。「くっすんタイム」の時間は、わずか10分です。でも1週間続けると、それは50分となります。小学校の1時間の授業は45分ですから、よりも長い時間となります。「塵も積もれば・・・」です。

始業前の教室の様子を見て回ったときに、歩いて教室に近づいても子供たちの気配を感じないクラスがありました。「あれ？いないの？水やりにでも行っているのかしら」と思って、廊下から教室を覗くと教室の中にはちゃんと子供たちの姿があります。なんと、みんなシーンと静かに「くすんタイム」に取り組んでいるのです。思わずカメラでパチリ！！素晴らしい朝のスタートだと感心しました。読書は、心を育てます。

読書で落ち着いた朝のスタートを切り、穏やかに、そして、人にも優しく、みんなが笑顔になる相知小にするための1日が今日も始まります。



静かに「くっすんタイム」の読書に取り組む2年生